

# 事業報告書

令和 5 年度

(2023 年度)

社会福祉法人 清 風 会

## 事業報告書 目次

1. 法人全般について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
2. 特別養護老人ホーム（従来型）
  - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～5
  - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3. 短期入所事業（従来型）
  - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 特別養護老人ホーム（ユニット型）
  - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～9
  - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
  - ◎行事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5. 津奈木町デイサービスセンター
  - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
  - ◎利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
  - ◎行事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
6. 調理栄養部事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
7. 介護福祉サービスセンター（居宅介護支援事業）
  - ◎事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
  - ◎利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
8. グループホーム
  - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
  - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19～20
9. 各種施設運営管理報告、研修報告書・・・・ 21

# 令和5年度 事業報告

## 社会福祉法人 清風会

### あけぼの苑

#### 【実施事業】

- \* 特別養護老人ホーム（従来型）35床
- \* 特別養護老人ホーム（ユニット型）30床
- \* 短期入所生活介護事業（ショートステイ）11床
- \* 通所介護事業（デイサービス）定員30人
- \* 居宅介護支援事業 介護支援専門員3人
- \* 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）18床

#### 1. 全般について

「地域福祉の拠点となって」「その人がその人らしく生きるために」「喜び、安らぎ、生きがいをあたえる」の法人理念に基づき、事業の健全な運営を図るよう努めた。また、社会資源としての自覚を持ち、多様なサービスを提供し、住み慣れた生活を続けるための支援を行い、真の利用者ニーズの把握に努め、対応できる質の高いサービス提供に努めた。

不足する福祉人材確保については、介護職員及び看護職員ともに十分な雇用の安定には至らなかったが、介護の補助的業務を担うため、障がい者雇用を活用した。

感染症については、蔓延防止に努めていたが、従来型特養及びデイサービスで新型コロナウイルスのクラスターとなった。幸い、重症化することなく感染者全員が完治した。新型コロナウイルスが感染症の第5類へと位置づけされたが、以前と同様の規模での行事は縮小し、職員研修もオンラインや書面閲覧とした。災害時のBCP体制の確立では、BCPの見直しを行い、危機管理体制の強化を図った。

#### 2. 職員の勤務条件の改善と資質の向上

- ① 職員の給与体系については、定期的な昇給を行い、また、介護職員処遇改善加算及びベースアップ支援加算を算定し、処遇改善手当を継続して支給、令和6年2月3月の介護職員処遇改善支援補助金も申請し支給した。令和6年度に向けた給与規程等の改正のため、社会保険労務士の専門家より指導を受けながら取り組んだ。
- ② 職員の質の向上を目的として、年間研修計画の予定が新型コロナウイルスの感染防止対策により、開催が難しく、担当者が作成した研修資料を閲覧する方式に切

り替え、外部研修については、概ねオンライン研修にて参加したが、昨年よりは集合型の研修に参加できた。

- ③ 労働環境の検証として、各事業所ごとに24時間体制での勤務時間割りや、勤務パターン、業務内容や手順等について業務改善案を出し合い、働きやすい職場づくりに努めた。また、福祉人材確保のために、芦北高校福祉科の現場実習を受け入れた。

### 3. 固定資産の取得及び物品の購入

その他の固定資産

① 器具及び備品	電動ベッド（ユニット）	1台
② 器具及び備品	業務用給湯器（エコキュート従来型）	1式
③ 器具及び備品	ノートパソコン（従来型特養）	1台
④ 器具及び備品	デスクトップパソコン（従来型特養）	1台
⑤ 器具及び備品	テレビ（デイサービス、54インチ）	1台
⑥ 器具及び備品	エアコン（従来型特養）	2台

### 4. 施設運営の合理化について

- ① 各職機関との連絡を充実させ、また管理者及び責任者等の指示、指導を徹底させることで施設運営の円滑化が図られ、日常の介護業務、各種委員会、利用者の健康管理、給食内容の向上等に努力した。
- ② 会計の決算については別紙のとおりであるが、全体の資産状況については、資産額 1,191,271,405 円、負債額 37,514,274 円、純財産額 1,153,757,131 円となった。物価の高騰により経費が上がったが、熊本県の物価高騰支援金を申請し、経費に充てた。また、令和4年度の新型コロナ流行下におけるサービス体制確保事業費補助金の申請も行い、交付された。

### 5. 防災体制の充実強化について

- ① 消防機関はもとより、役場、地域住民等とも日常の連絡を密にし、施設の構造、入居者の実態を認識してもらうよう努めるとともに、避難、消火、避難後の援護等が円滑に行える協力体制を図った。また、令和2年7月豪雨で被災した施設の体験を研修し、防災対策委員会にて、班ごとに業務を確認し、地震、風水害、土砂災害についての対策も検討した。
- ② 消防計画書をもとに、年2回総合防災訓練を実施し、消防署立ち合いのもと、指導を受けた。
- ③ 防火設備の管理については、管理業者と点検契約を締結し、年2回の定期点検を実施し、常時防火設備の保全と避難誘導経路の確保に努めた。
- ④ BCP（事業継続計画）について、各事業所にて研修に参加し、見直しを行った。

## 1. 【生活相談員・介護支援専門員業務】

- ① 今年度の退所者12名の内訳として、医療機関入院後死亡7名、医療機関転院1名、施設での死亡者4名であった。そのうち2名については、28日間の看取り介護を行った。終末期においては、感染防止に努めながらも最後は家族の見守る中で生涯を終えるよう努めた。新規入所者については、要介護3が8名、要介護4が1名、要介護5が1名の計10名を新規入所者として受け入れた。
- ② 令和5年度の行事として四季折々の行事を計画していたが、感染症蔓延防止の関係で規模を縮小して行った。また、感染症流行時は苑外の散歩やドライブでの故郷訪問、町内巡りなどの余暇活動を行い、入居者のストレス解消に努めた。
- ③ 面会については、玄関ホールでの面会や、外から直接お部屋まで行ってもらう形の面会も実施した。
- ④ 施設サービス計画書作成については、定期的にあセスメントを行い、日々入居者の状態の変化に合わせた計画を策定し、多職種連携のもと、目標達成に向けた支援を実施した。しかし、既存の入居者の介護計画更新時は、感染症蔓延防止の関係で担当者会議に家族が出席できなかったため、事前に家族へ要望を聞いたが、「今のままでいいです」と言われることが多かったため、もっと意向を聞く対策が必要と感じた。
- ⑤ 日頃の関わりの中で感じた入居者の思い、面会や電話連絡などで感じた家族の願いや思いを実現・実行できるような計画の立案を心掛けた。1名の方についてご家族の希望であった「自宅へ帰る」と言う計画が実行でき、ご家族も喜ばれていた。その3カ月後に亡くなられたので、実行できたことがより心に残った。今後も外出・外泊等小さな希望も叶えられるよう努めていきたい。

## 2. 【介護業務】

介護目標に「利用者の笑顔が観られるよう個別ケアに取り組む」としていたことに対し、職員間で利用者の日々の状態を把握し、変化があれば話し合いを行うことで、利用者のADLや身体状況に合ったケアを個別に行うことができた。5年度のケア会議は、毎月開催することができたので、意見交換や課題の検討の場として機能した。

計画に対しては、利用者の日々の関わりの中で感じ取った利用者の心身の状況を職員が汲み取ることで、利用者及び家族の意向を尊重した介護計画の実践・ケアが出来ていた。職員のスキルアップのための勉強会は、感染症蔓延防止のため、計画通りには実施できなかった。

## [基本サービス]

食事：利用者の好みや季節感を取り入れ、行事食を含めた食事の提供を行うことで、利用者の笑顔が観られ、楽しみのある食事の提供に努めた。

配膳時の誤薬については、対策の効果により、減少したため、今後も無くすための誤薬防止マニュアルの周知徹底を継続する。

入浴：個浴、リフト浴、機械浴を利用者個人のADLに合わせて入浴することで、利用者がゆったりと入浴を楽しめるようになり、利用者と職員共に負担なく入浴の実施が行えた。また、入浴時の観察により皮膚疾患の早期発見・治療に至り、悪化を防ぐことができた。

排泄：気兼ねや羞恥心がないよう安全性とプライバシーに配慮して排泄介助を行うよう努めた。トイレやポータブルトイレ介助を行うことで、下肢筋力を低下させない目的もあり、ADLの維持・向上も図れた。また、看護職員との連携により排便状況を把握し、排便コントロールもできていた。

整容：毎日の洗顔及び口腔ケアは、適切な器具を使用し、利用者の状態に応じて行った。月1回の散髪ボランティアにより、全利用者の散髪も実施できた。

更衣についても個人の生活スタイルに合わせ、就寝前の普段着からパジャマへの着替えも行った。

処遇改善：利用者の願いや思いを日頃の会話や生活歴、趣味などから汲み取り、叶えられるよう取り組んだ結果、数名の利用者が歌や毬づくり、書道などの趣味は実施できたが全員ではなかった。また、利用者の希望で運動器具を使った上肢の運動や歩行訓練、苑庭の散歩なども実施した。認知症利用者の行動・心理症状の対応については、動きを制限せず、職員が利用者に合わせてできる限り付き添いを行った。家族等との面会については、地域の感染状況に合わせ、柔軟に対応した。面会が制限されている時は、お便りと写真を送付し、また電話にて近況を説明するなどの対応を行った。

残念ながら、2月に新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、感染症蔓延の脅威を知った。感染症のBCPに沿って業務を行い、全職種が協力し勤務体制を確保した。また、終息後のカンファレンスを行い、感染者発生後にクラスター防止対策を共有した。

### 3.【医療業務】

- ① 利用者の状況に応じて健康チェック、血糖値測定を実施し、安定している方のバイタル測定等も定期的実施し、嘱託医及び各部署連携を図り健康管理を行った。
- ② 今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、手指の消毒及びマスク着用の徹底、居室・施設内の換気と消毒、週1回の職員の抗原検査を実施、入居者の発熱時の迅速な初動対応を実施した。4月～1月の間は、職員に8名の感染者があったが利用者には感染しなかった。しかし、2月11日に発熱した利用者が陽性となり、職員5名、入居者23名が感染するクラスターとなった。そのうち、1名が呼吸器疾患症状があり医療機関への入院となったが、重篤な状態まで至らず、感染者全員が完治し、3月3日に終息となりカンファレンスを行った。その他インフルエンザ等の感染拡大はなかった。
- ③ PPE(個人用防護具)の脱着手順など感染防止に関する研修を書面にて行った。
- ④ 入居者の状態観察を徹底し、異常の早期発見に努め、専門医の診察を積極的に行

った。

- ⑤ 褥瘡の発症はなかったが、仙骨部の剥離程度の傷が見られ、嘱託医指示のもと、介護職員との連携によるケアの充実と栄養士との連携による食事内容の見直しにより、早期に改善した。
- ⑥ 新型コロナウイルスワクチン及びインフルエンザワクチンの予防接種を職員及び入居者に実施した。入居者で対象者に対し、肺炎球菌ワクチンの接種も実施した。
- ⑦ 看取りについては、12名の退所のうち、3名が施設で最期を迎えられ、そのうち2名の方について施設でターミナルを迎え、家族の希望と本人のQOLを尊重し、多職種連携し苦痛の緩和に努めたことにより、穏やかに最期を看取れた。9名は入院先の医療機関にて死亡退所された。

令和5年度 特養(従来型)利用実績

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計		稼働率
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	
4月	0	0	1	30	9	234	13	390	11	305	34	959	91.33%
5月	0	0	1	31	8	248	13	403	12	355	34	1037	95.58%
6月	0	0	1	30	8	229	14	420	12	360	35	1039	98.95%
7月	0	0	1	31	8	248	14	434	12	372	35	1085	100.00%
8月	0	0	1	31	8	248	10	295	17	473	36	1047	96.50%
9月	0	0	1	30	9	244	9	270	16	480	35	1024	97.52%
10月	0	0	2	62	9	233	9	279	16	458	36	1032	95.12%
11月	0	0	2	60	8	240	11	322	13	359	34	981	93.43%
12月	0	0	2	62	10	272	10	296	12	372	34	1002	92.35%
1月	0	0	2	62	11	318	10	310	12	372	35	1062	97.88%
2月	0	0	2	58	10	289	10	290	13	355	35	992	97.73%
3月	0	0	2	62	11	272	10	310	12	343	35	987	90.97%
合計		0		549		3075		4019		4604		12247	95.60%

稼働率 95.6%



令和5年度ショートステイ年間利用実績

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計		稼働率
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	
4月	1	5	0	0	7	48	10	84	6	40	4	39	4	55	32	271	82.12%
5月	1	6	0	0	5	33	12	94	7	44	4	42	4	53	33	272	79.77%
6月	2	8	0	0	7	54	11	96	7	50	5	32	3	43	35	283	85.76%
7月	1	6	0	0	7	37	11	85	9	50	4	29	3	46	35	253	74.19%
8月	0	0	0	0	8	47	11	112	10	80	4	35	3	41	36	315	92.38%
9月	0	0	0	0	7	40	13	103	6	48	4	34	2	31	32	256	77.56%
10月	0	0	0	0	8	50	12	100	6	49	4	45	2	33	32	277	81.23%
11月	0	0	0	0	9	59	14	119	4	55	3	22	2	33	32	288	87.27%
12月	0	0	1	5	11	71	10	90	6	43	3	17	3	51	34	277	81.23%
1月	1	5	0	0	12	74	9	79	5	56	2	15	3	53	32	282	82.70%
2月	0	0	1	3	5	31	9	76	3	25	1	6	2	43	21	184	57.68%
3月	0	0	0	0	6	35	11	63	3	48	2	30	3	28	25	204	59.82%
合計		30		8		579		1101		588		346		510		3162	78.54%

稼働率: 78.5%

## 令和5年度事業報告

ユニット よらんかな

### (生活相談員部)

令和5年度は新規入居6名、ターミナル2名含む退所7名であった。入院者が延べ17名と多く、それによる空床が446日、そして大きな課題となったのは、ユニットの入居待機者が減少し、退所後の新規入居がなかなか決定せず、調整空床が592日となってしまった事であった。稼働率も90.8%と大幅に低下した。

次年度では原因を分析し、入所申込の際の説明をしっかりと行い、スムーズに入所が決定できるよう努めたい。そして、これまで同様に入居者のご家族、そして職員と一緒に笑顔になれるよう、関係作りを支援したい。

### (介護支援専門員部門)

新規入居者6名のうち5名は事前にご本人と直接面談し意向を伺うことができたが病院の面会規制などでできなかった方もいた。ご家族の意向は契約締結の際にこれまでの生活歴や意向を確認できた。ケアプラン作成においてはご本人やご家族から「今まで通り」と言われることが多く、具体的な意向をうまく伺うことができないこともあった。担当者会議は今年も感染防止の観点から電話での意向確認後、苑内担当者で開催し、内容をご家族へ郵送していた。

次年度はご家族を含めた会議を再開し、各担当者より直接説明を行う事で苑での生活の様子をご理解頂き、ご家族の想いを伺いより具体的で個別的なケアプラン作成を行いたい。看取りケアについては2名行い、ご家族、スタッフ共に最期まで寄り添うことができた。

### (看護部門)

入居者の高齢化、重度化により状態や病状の変化も多くみられ、入院者数が延べ17名となり、また他科受診も多かった。新型コロナウイルスも5類へ移行したが重度化のリスクも高い為、週1回の抗原検査の実施・1ケア1消毒、マスク装着、定期的な換気を徹底し入居者・職員の健康管理を行っていた。しかし、入居者1名、職員7名が罹患したが、入居者は入院加療により重症化することなく軽快できた。2名の方の看取りをさせて頂いたが、ご家族と共にご本人のQOLとご家族の意向を尊重し、各職種が連携、協力し、良い終末期を迎えることができた。

次年度も引き続き感染症の蔓延防止、各職種との連携による重症化への早期対応、そして予防医療に努めたい。

### (介護部門)

感染症防止により、担当者会議でのご家族からの介護に対する十分な聞き取りが行えなかったが、条件付きでの面会の時間を再開し、ご家族と接する機会も設けられた為、その際の聞き取りや電話連絡にて意向を確認し、また、過去の生活歴も踏まえながらケアを行った。ターミナルケア2名含め、入院先などで亡くなるなど計7名の退所があった。毎月のユニット毎のミーティングや日々の業務の中で職員間の情報をしっかり共有し連携を図りながら、可能な限り入居者の想いに寄り添いながら最期まで送れるよう努めた。年間行事では苑外活動はできなかったが、屋台・花火大会・焼き芋・BBQなど苑内でもできる限り季節を感じながら楽しんで頂けるよう職員が協力して努めることができた。安全管理では特定の入居者の事故を繰り返してしまう事があり対応に苦慮した。

職員全員で随時検討しながら再発防止を徹底し、事故件数が少しでも減少できるよう努めていきたい。次年度も入居者の生活がたくさん笑顔で過ごせるように各ユニットで協力し合い努めていきたい。

令和 5年度 よらんかな利用人員 (増減)(実人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	2	4	10(+1)	13	29
5月	0	2	4	10	13	29
6月	0	2	5 (+1)	10(-1)	13	30
7月	0	2	4	10	13	29
8月	0	2	4	9(-1)	14	29
9月	0	3 (+1)	5 (+1)	8	14	30
10月	0	3	5	9	13	30
11月	0	3 (-1)	5	9	13	30
12月	0	2	5	10(-2)	12	29
1月	0	2	5	8(-1)	12	27
2月	0	1	7 (+1)	8	11	27
3月	0	1	8 (+1)	8	11(-1)	28

(延べ人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
4月	0	60	103	298	390	851	94.5%
5月	0	62	124	288	403	877	94.3%
6月	0	60	106	281	383	830	92.2%
7月	0	62	124	279	372	837	90.0%
8月	0	62	99	248	411	820	88.1%
9月	0	76	102	216	420	814	90.4%
10月	0	93	146	268	403	910	97.8%
11月	0	68	150	270	390	878	97.5%
12月	0	62	148	278	372	860	92.4%
1月	0	62	155	217	345	779	83.7%
2月	0	29	203	207	301	740	85.0%
3月	0	31	236	237	286	790	84.9%
合計	0	727	1696	3087	4476	9986	90.9%

新規入居 6名、退所 7名、利用人員 36名

延べ日数 9986日 稼働率 90.9 %

1. 入院による空床 446日 (入院延べ 17名)

2. 入・退所による調整空床 592日

## 令和5年度ユニット行事報告

	年月日	行事	場所
1	4月19日	バーベキュー	中庭
2	5月10日	鯉のぼり見学	芦北(湯浦川)
3	6月14日	紫陽花見学	湯浦
4	6月14日	藤原悟氏による勉強会	東町リビング
5	6月28日	運動会	地域交流館
6	7月12日	屋台の日	東・西町リビング
7	8月16日	そうめん流し	各町リビング
8	9月13日	おはぎ作り	東町リビング
9	9月20日	敬老会	南町リビング
10	9月29日	花火会	南町駐車場
11	10月18日	バーベキュー	東・西町中庭
12	10月11.18.25	故郷訪問	湯浦・津奈木・水俣
13	11月15日	焼き芋会	東・西町玄関前
14	11月29日	紅葉見学	津奈木町舞鶴公園
15	11月2.12.13	たまねぎ作り	東町畑
16	12月25日	忘年会 & Xmas・誕生会	南町リビング
17	12月28日	餅つき	従来型特養玄関前
18	1月6日	どんどや	ユニット南町 苑庭
19	1月10日	新年会	東・南町リビング
20	2月7日	節分	東・南町リビング
21	2月21日	梅見学・焼き芋会	東・西町玄関前
22	3月6日	ひな祭り	各町・写真のみ全員
23	3月20日	おはぎ作り	東町リビング
24	3月8.9.12	故郷訪問	湯浦・津奈木・水俣
25	3月29日	花見	特養苑庭桜

### その他

- ・毎月第4水日曜日午後より誕生会
- ・月1～2回散髪ボランティア「ガーデン」様
- ・各町で入居者の「想いを叶える」ため、プチBBQや買い物の実施

## 令和5年度 事業報告

津奈木町デイサービスセンター あけぼの苑

1、年間稼働日数 307 日稼働 (台風自粛1日間、感染症自粛2日間)

2、一日平均稼働数 21.82 人 / 日

### 3、利用実数 (年間延べ人員)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和4年度	560	276	2,369	2,780	510	224	162	6,879
令和5年度	620	463	2,699	2,261	381	205	69	6,698
前年比	1.11	1.68	1.14	0.81	0.75	0.92	0.43	0.97

### 4、介護度別利用割合 (%)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
令和4年度	8.1	4	34.4	40.4	7.4	3.3	2.4
令和5年度	9.3	6.9	40.3	33.8	5.6	3.1	1

### 5、計画

#### 介護保険部門

- ・感染症の状況に合わせ、活動が増えてきた事で楽しみを持ってご利用頂けていた。
- ・自粛が続く中でのご利用の中で出来るだけ日常生活動作訓練を行うことで在宅生活の継続に繋がられた。
- ・利用継続により認知症の進行も緩やかであった。
- ・訪看、訪問介護との連携にて体調管理も早期発見、対応できていた。
- ・感染対策強化対応したことで通常の体調不良も少なく在宅生活の継続に繋がられている。

#### 総合事業部門

- ・生きがい活動が増えて活動の場も増え、生活意欲の向上に繋がっていると思われる。
- ・感染対策により御利用者の健康維持が継続できている。
- ・コミュニケーションの場の提供により楽しみながらご利用継続に繋がっている。。

### 6、まとめ

- ・感染症はあったが御家族とも情報を共有し、自粛や体調管理の協力が行えたことで継続拡大はなかった。
- ・感染者の自粛や、体調不良、転倒骨折による入院の長期化により、利用数の減少が見られる。
- ・他事業者とサービスの停止時においても連携し、対応できていたと思われる。
- ・御利用者の体調の変化に早期対応することで病状の悪化が防げていた。
- ・今後も安全で安心してご利用できる環境づくり、楽しみながらの訓練提供を心掛けていきます。

令和5年度通所介護事業利用実績（総合事業含む）

【利用実人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	12	10	10	10	9	8	8	9	11	9	10	12	118
要支援2	2	5	6	6	6	7	8	9	9	7	8	5	78
合計	14	15	16	16	15	15	16	18	20	16	18	17	196
要介護1	23	26	25	24	26	27	27	24	24	23	22	21	292
要介護2	20	19	19	20	20	21	23	24	24	25	23	22	260
要介護3	5	5	5	4	5	3	1	1	1	2	1	1	34
要介護4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	3	2	25
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	2	16
合計	52	53	52	51	54	54	54	52	52	54	51	48	627

【利用延べ人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	62	60	57	53	52	46	44	47	58	45	43	53	620
要支援2	11	27	37	38	38	42	51	54	51	36	39	39	463
合計	73	87	94	91	90	88	95	101	109	81	82	92	1,083
要介護1	213	238	218	235	223	250	262	235	240	200	183	207	2,704
要介護2	146	151	166	172	190	206	207	213	208	212	183	207	2,261
要介護3	52	67	60	40	54	38	21	21	16	6	2	4	381
要介護4	19	21	19	18	14	22	17	21	20	5	8	21	205
要介護5	3	4	5	4	5	4	4	5	4	12	8	11	69
合計	433	481	468	469	486	520	511	495	488	435	384	450	5620
入浴介助者 (介護保険者)	367	408	397	378	404	436	444	427	425	324	328	404	4,742
延べ利用人数	506	568	562	560	576	608	606	596	597	516	466	542	6,703
営業日数	25	27	26	26	26	26	26	26	26	24	23	26	307

# 令和5年度 行事報告書

津奈木町デザイナーサービスセンター あげぼの苑

		定例行事	
4月	誕生会 (17日～22日)	10月	美術鑑訪問 (9、10、12、13日) 誕生会 (16日～21日)
5月	誕生会 (15日～20日)	11月	バーベキュー昼食会 (6、7日) 誕生会 (13日～18日)
6月	運動器機能測定 (5日～10日) 誕生会 (12日～17日) 防災総合訓練「火災」 (22日)	12月	運動器機能測定 (4日～9日) クリスマス&忘年会 (25日～27日) デザートバイキング (21、22日) 誕生会 (25日～30日)
7月	誕生会 (17日～22日) そうめん流し (寒川水源亭) (25日～28日)	1月	新年会 (4日～6日) 初詣・ゲーム大会 (8日～11日) 誕生会 (22日～27日)
8月	誕生会 (14日～19日)	2月	節分豆まき (3日) 誕生会 (12日～17日)
9月	ぶどう狩り (山門ぶどう園) (5日～8日) 運動器機能測定 (11日～16日) 誕生会 (18日～23日)	3月	運動器機能測定 (11日～16日)
		各種室内ゲーム カレンダー作成	



# 令和5年度 事業報告書

あけぼの苑  
調理・栄養

## 〈目標〉

健康維持・増進、疾病予防のほかに、過剰摂取による健康障害を予防し、活力ある生活を送るため利用者に食の楽しみを提供できるよう努めた。また、多職種と連携を取り、個々に合った食事の提供を行い、充実した食事サービスに努めることができた。

## 〈継続事業報告〉

### 1. 栄養ケアの実施

関連職種との連携、調整を行い、栄養ケアマネジメントを実施することができた。

### 2. 経口維持への取り組み

認知機能や摂食嚥下機能の低下により、経口摂取が困難となった入居者に対して多職種と協議を繰り返し行い、経口摂取の維持に取り組むことができた。

### 3. 行事食・イベント食の実施

毎月、行事食の提供を行い、変化に富んだ季節感のある食事の提供を行うことができた。また、デザートバイキングやクリスマスバイキング等は感染症予防を考慮しながら実施することができた。

### 4. 衛生、安全管理の徹底

検便・健康診断・水質検査・保存食管理・温度管理・衛生点検等は継続して行うことができた。

### 5. 非常災害時の対応

自然災害時の食事の提供がスムーズに行えるよう、マニュアル等の見直しを行った。また、備蓄食品等の管理を行い、不足分の補充を行った。

## 令和 5 年度

### あけぼの苑介護福祉サービスセンター 事業報告

・基本方針に基づき、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者又は施設から、総合的かつ効率的に提供できるよう、ケアプラン（介護サービス計画）を作成することができた。

・利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、常に利用者や家族、各種サービスが提供されるように管理、指導すると共に、地域ケアにおけるコーディネーターとしての役割を果たすことができた。

・本人の心身の状況に合わせた福祉用具の選定や屋内の必要箇所に住宅改修を行うことで、安全で安心できる自宅での生活が送れるよう、また、福祉用具を活用することで自立した日常生活が送れるよう支援することができた。

・県内及び圏域内のさまざまな会議や研修等はコロナ感染拡大予防のためリモート会議が主となり、安心して参加することができた。

・介護給付に関しては、1月から3月にかけて医療機関への長期入院や施設入所、死亡等の理由にて契約終了となる利用者があり、その間の新規契約者も少なく8人とどまった。

・介護給付の全体数としては、延べ人数が23人下回った。  
認知機能面の低下や身体機能面の低下による介護度変更により要介護3の延べ人数が17人増となったが、要介護1・2の延べ人数が33人減、要介護3・4・5の延べ人数が10人減であった。

・予防給付に関しては、要介護から要支援へ変更になった利用者や、担当している要介護状態の配偶者が要支援状態になることで夫婦ともに担当するケースが増えてきた。

要支援1の延べ人数が21人増、要支援2の延べ人数が8人増となり、全体数としては延べ人数が29人上回った。

・目標達成率 介護給付 97.7% 予防給付 118.5% であった。

## 令和5年度 居宅介護支援事業利用実績

### ◎月別給付管理数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
要介護1	43	44	43	44	49	46	48	45	45	43	39	37	526
初回加算	3	3	1	0	2	1	3	0	1	2	1	0	17
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	6
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	25	24	23	23	24	27	25	27	26	27	26	28	305
初回加算	0	0	0	1	1	1	2	1	0	1	1	2	10
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
入院時情報連携加算(Ⅰ)	2	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	7
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	8	9	10	11	12	10	6	5	6	5	5	2	89
初回加算	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	5	5	5	5	4	4	3	4	5	5	6	6	57
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	20
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護者合計(人)	83	84	83	85	91	88	83	82	83	82	78	75	997
初回加算合計(人)	4	5	2	1	3	2	5	1	2	3	3	2	33
退院・退所加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
入院時情報連携加算(Ⅰ)合計(人)	3	0	0	2	2	1	2	3	0	2	1	2	18
入院時情報連携加算(Ⅱ)合計(人)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
緊急時カンファレンス加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### ◎予防給付者数

要支援1	5	6	6	6	6	7	6	6	6	5	5	5	69
初回加算	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	5
要支援2	11	11	9	9	9	8	7	8	9	10	12	13	116
初回加算	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	7
要支援者数合計(人)	16	17	15	15	15	15	13	14	15	15	17	18	185
初回加算合計(人)	2	1	0	0	0	1	0	1	1	1	3	2	12

## 令和5年度事業報告書

グループホーム あけぼの

### 【管理者部門】

- \* 運営推進会議を年6回（4/26 6/28 8/30 10/25 12/20 2/21）コロナ禍の為4月は文書配布、6月よりホームにて会議開催行なった。
- \* 防災訓練実施（6/21 避難訓練 11/29 夜間想定通報訓練）他台風接近による大雨水害に備えての訓練を兼ね、苑への避難（6/30～7/1）実施行なった。
- \* ご家族への近況報告兼お便りを月1回発行できた。
- \* 令和5年度の退所者は2名で、入院後の他界による退所が2名であった。新規入所者は介護1が1名であった。

### 【計画作成担当部門・介護部門】

- \* コロナ禍により担当者会議を電話にて行ない、サービス内容を説明し同意を行なった。ご家族へ施設サービス計画書を送付し署名押印頂いた。
- \* 自己評価・外部評価を実施し、ケアの振り返りや課題検討行なった。
- \* コロナ状況みながら外出行事も行ない、入居者の気分転換を図った。

### 【行事報告】

- \* 5月 端午の節句（行事食）・バラ園見学
- \* 6月 あじさい見学
- \* 7月 七夕飾り作り・そうめん流し
- \* 8月 昼食バイキング
- \* 9月 敬老会・月見団子作り
- \* 10月 コスモス見学
- \* 11月 外部評価・紅葉見学
- \* 12月 忘年会・クリスマス会・餅つき
- \* 1月 新年会・初詣で
- \* 2月 節分（豆まき）
- \* 3月 ひな祭り（行事食）・彼岸団子作り

\* 誕生会（入居者の誕生月）

\* 火災通報避難訓練（6月・11月）

\* 自然災害 〃 （6月～7月）

令和5年度 グループホームあけぼの年間利用実績

	要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
4月	0	0	8	240	4	120	1	30	5	134	0	0	18	524
5月	0	0	8	248	4	124	1	31	5	155	0	0	18	558
6月	0	0	8	240	3	89	1	30	6	180	0	0	18	539
7月	0	0	8	248	3	88	1	31	6	186	0	0	18	553
8月	0	0	8	248	3	93	1	31	6	179	0	0	18	551
9月	0	0	8	232	3	80	1	30	6	156	0	0	18	498
10月	0	0	7	217	3	93	1	31	6	173	0	0	17	514
11月	0	0	7	210	3	61	1	30	6	165	0	0	17	466
12月	1	31	8	228	2	43	1	31	6	186	0	0	18	519
1月	1	31	8	248	2	62	1	31	6	186	0	0	18	558
2月	1	29	8	216	2	58	1	29	6	174	0	0	18	506
3月	1	31	8	222	1	31	1	31	7	197	0	0	18	512
合計		122		2797		942		366		2071		0		6298

稼働率 95.6 %

令和5年度 グループホームあけぼの 利用実績

利用定員 18 人		年間利用実人員 19 人					
要介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援2	合計(人)
内	8	4	1	7	0	1	
利用実人員							
年間延べ人員	2797	942	366	2071	0	122	6298
稼働率	年間延人員( 6298 ) ÷ 6588 = 95.6 %						

家賃	年間延べ	215.3	ヶ月
光熱費	年間延べ	209.0	ヶ月

食事提供	朝食	昼食	夕食	合計(食数)
	6288	6284	6292	18864

# 令和5年度 行事・職員研修報告

	特養行事	ユニット	グループホーム	施設管理	施設外研修	施設内研修	月例行事・その他
4月	家族会総会 (29日) 花見 故郷訪問 (芦北方面・内野)	花見 バーベキュー	花見	自家発電装置点検 (毎月) 電気設備点検 (毎月)			職員研修会 1. 感染症・食中毒対策研修 (年2回) 2. 身体拘束・虐待防止に関する研修 (年2回) 3. 事故対策に関する研修 (年2回)
5月	鯉のぼり見学 バラ園見学	つつじ見学 故郷訪問	端午の節句 バラ園見学	屋上排水口清掃 苑周囲草刈 浄化槽清掃 冷暖房フィルター清掃		1. 感染症・食中毒研修 (委員会) 3. 事故状況報告 (委員会)	4. 巫家に関する教育・研修 5. 認知症研修会 6. プライバシーに関する研修会 7. ターミナルケアに関する研修会
6月	運動会 故郷訪問 (竹中)	運動会 あじさい見学	あじさい見学 避難通報訓練	避難訓練訓練 (地震・火災) 苑周囲草刈 冷房切り替え		9. 非常災害時の研修 (土砂災害、風水害、地震) 災害避難訓練 (土砂災害) 通報避難訓練 (火災)	8. 倫理及び法令遵守に関する研修 9. 非常災害時における研修 10. 従業員の施設サービス研修 11. マニュアルの見直し検討会議
7月	ソーメン流し 七夕 故郷訪問 (平岡・辻)	七夕・墨台	七夕飾り付け ソーめん流し		リスタアセスメント研修	職員の健康管理 (衛生委員会) 5. 認知症研修 2. 身体拘束・虐待防止研修	各種委員会 ① 労働衛生委員会 (奇数月第4月曜日) ② 医療的ケア対策委員会 (4, 7, 10, 1月第3日) ③ 感染対策委員会 (4・9・11, 3月第3水曜日)
8月	ぶどう狩り 故郷訪問 (水俣)	ソーメン流し	昼食バイキング お盆団子作り 災害避難訓練	窓ガラス拭き 苑周囲草刈 屋上排水口清掃 貯水槽清掃		11. マニュアルの見直し検討会議 (各部署において) 標榜予防	④ 身体拘束防止委員会 (4・7・10・1月、第2火曜日) ⑤ 安全管理対策委員会 (4・7・10・1月) 第3水曜日 ⑥ 防災対策委員会 (5・11月) ⑦ 給食委員会 (5・8・11・2月)
9月	敬老会 コスモス見学 故郷訪問 (袋竹・大池)	敬老会 おはぎ作り 花火大会	敬老会 月見団子作り	苑周囲草刈		4. 医療に関する研修 7. ターミナルケア研修	⑧ 広報委員会 (5, 9, 1月・第1火曜日) ⑨ 環境美化委員会 (4・8・11・3月第3水曜日) ⑩ 地域貢献活動委員会 (4, 8, 1月) ⑪ 研修委員会 (4月)
10月	故郷訪問 (浜崎・小津奈木) バラ園見学 秋祭り	バーベキュー 故郷訪問	コスモス見学	冷暖房フィルター清掃 暖房切り替え	福祉サービス苦情解決研修 生活相談員研修 虐待防止研修	1. 食中毒・感染症研修 (ノロウイルス) インフルエンザ・感染委員会 取組み・事例発表会 (特養・デイ・GH・ユニット)	⑫ 入所検討委員会 (随時) 排泄委員会 毎月 (特養) 入浴委員会 毎月 (特養) 食事委員会 毎月 (特養)
11月	ふれあい祭り見学 やきいも会・紅葉見学	焼き芋会 紅葉見学 玉ねぎ作り	紅葉見学 外部評価 避難通報訓練	屋上排水口清掃 水質検査 (浴槽水)	熊本県福祉施設研究大会 介護技術研修 風水害24体験 認知症対策推進研修	5. 認知症研修 (委員会内で内容検討) 2. 身体拘束・虐待防止研修 防災訓練：夜間想定 熊本県福祉施設研究大会報告	接遇委員会 (3, 3月 特養) 会議 ・職員会議 (毎月第4金曜日) ・ケア会議、モニタリング (特：毎月第4火曜)
12月	忘年会&Xmas 門松作り 餅つき	Xmas&誕生会 門松作り 餅つき	忘年会 クリスマス会 餅つき	大掃除・窓ガラス拭き	看取り介護研修		・ユニット会議、リーダー会議 (毎月23日) ・各ユニットミーティング (毎月) ・誕生会 毎月第4日曜日 ・体重測定 毎月第2水曜日
1月	初詣 新年会 どんどや	よらかな神社 新年会 どんどや	新年会・初詣		アンダーマネジメント研修 温かい最期の迎え方 災害から命を守る為に	6. プライバシー研修 (特養) 8. 倫理及び法令遵守研修 3. 事故事例検討 (委員会) 5. 認知症研修	・インフルエンザ・新型コロナワクチン予防接種 災害避難訓練：6月 火災避難通報訓練：6月、11月 (夜間定時) 通報訓練：3月 (夜間)
2月	節分 焼き芋茶話会	節分 焼き芋茶話会	節分 (豆まき)	屋上排水口清掃 非常用放送設備点検 消防用設備点検	介護報酬改定2024 多職種連携推進研修 ホワイトボードミーティング		(健康診断) 入居者 8月予定 (胸部XP・採血他) 全職員 8月予定 (胸部XP・採血他) (腰痛検査)
3月	ひな祭り 故郷訪問 (古中居)	ひな祭り おはぎ作り 故郷訪問	ひな祭り ぼた餅作り	水質検査 (水道水)	BCP策定研修3/4	10. 従業員の施設サービス研修 (施設長) 各部署より次年度方針・事業計画	介護職員8月・2月 グループホーム 運営推進会議 (4, 6, 8, 10, 12, 2月) 避難通報消防訓練 (6月・11月) 自然災害時避難訓練 (7月～9月)